



講演会



国際基督教大学（ICU）の 3学期制とカリキュラム

講演： 日比谷 潤子 氏

国際基督教大学（ICU）学長

2013年3月8日（金）16：30～

日吉キャンパス 来往舎 大会議室

学内の方はどなたでもご参加ください

東京大学による「秋入学構想」をきっかけに、義塾でも学期制の問題が論議されています。教養研究センター2012年度基盤研究「セメスター制度の研究 —「秋学期入学問題」を見据えて」は、3学期制を骨子とする学事日程案を提示しました。今回は、3学期制を取り、国際化では一歩進んだカリキュラムを展開するICUの日比谷学長に、ICUの取り組みについて、お伺いします。日比谷氏は、かつて慶應義塾大学国際センターの教員であられ、慶應の事情もよくご存じで、慶應へのメッセージとご提言がいただけることと期待しております。

日比谷 潤子 氏

国際基督教大学（ICU）教授。2012年より学長。専門は言語学・音韻論で、ペンシルベニア大学で博士の学位を取得。慶應義塾大学国際センター助教授を経て、ICUへ。主著に『多言語社会の外国人学習支援』（慶應義塾大学出版会）、『はじめて学ぶ社会言語学 ことばのバリエーションを考える14章』（ミネルヴァ書房）など、多数の論文がある。